

# 1 . 平成 1 7 年度事業報告書

## 1 . 概況：重点活動状況

近年の産業界の会員減少，および学生の情報分野離れへの対策として，学会活動を産業界との繋がりを深める技術応用分野へ広げることと，学生への夢の提供 / 高校以下の情報教育の在り方への関わりを中心に，以下の 4 つの重点施策を平成 17 年度の課題として活動してきた。これらについて概況を報告する。

(1) 学生会員の獲得と育成，(2) 研究活動の展開，(3) 教育活動の展開，(4) 技術応用活動と会員サービス。

### 1.1 学生会員の獲得と育成

学生会員育成委員会の下に，研究会と支部が協力し，新規学生会員の獲得（19 年度末目標：学生会員数 3,000 名）と 1 研究会への無料登録を実施してきた。学生会員数および研究会登録数とも，次の通り，順調な伸びを示している。

また，学生会員をエンカレッジするため船井情報科学振興財団の協力で設けられた「IPJSJ Digital Courier 船井若手奨励賞」に受賞候補者（8 名）を推薦した。

〔学生会員数〕 15 年度末：1,958 名（内，研究会登録数：224 名）

16 年度末：2,168 名（内，研究会登録数：393 名）

17 年度末：2,321 名（内，研究会登録数：895 名）

### 1.2 研究活動の展開

学生会員にとって魅力があり，かつ開かれた研究会と研究会活動の多様化を目指して，新規分野の開拓を推進してきた。主な成果を以下に示す。

(1) 17 年度は 2 研究会，4 研究グループが新たに発足した。

(2) 研究会論文誌（トランザクション）として，英文オンラインジャーナル「IPJSJ Digital Courier」に積極的に参加した。

(3) 調査研究運営委員会の積立金を山下記念研究賞基金へ繰り入れ，山下記念研究賞を継続することとした。

(4) 研究会が学会運営にこれまで以上に積極的に関与し運営上の責任を担うために，調査研究運営委員会から理事候補者を推薦した。

### 1.3 教育活動の展開

(1) 大学・大学院での専門教育向けの活動

・日本技術者教育認定機構（JABEE）の諸活動を通して大学での専門教育の質的向上を推進した。

・コンピュータサイエンス教育カリキュラム J97 の後継となるべき専門教育カリキュラム策定の出発点として，CC2001（Computing Curricula 2001）を訳出し終えた。

(2) 社会人向けの活動

・技術士委員会を通して技術士試験の試験委員の推薦を主体的に行える仕組みを作り，適用を開始した。

・シンポジウム「産業界が求める情報システム人材スキル」を開催した。

(3) 初等・中等教育，大学一般向けの活動

・情報教育のあり方について「提言」をまとめ，シンポジウム「高校教科「情報」の現状と将来」を開いて公表した。また，一連の社会的な事件と情報教育の関連に関するコメントを発表した。

### 1.4 技術応用活動と会員サービス

(1) 実務家への学会のビジビリティ向上を一步進めて，ソフトウェアジャパン等の具体的な活動を学会への

ポータルとし、実務家が集えるような IT プロフェッショナル・コミュニティ作りの推進を目指して以下を実施した。

- ・「ソフトウェアジャパン 2006」を実施し、実務家向け活動の中心に「サービスサイエンスフォーラム」と「IT アーキテクト / CIO フォーラム」を据えた。
- ・「サービスサイエンスフォーラム」と「IT アーキテクト / CIO フォーラム」は、ソフトウェア技術とビジネスの課題と将来について討議を喚起する「IT フォーラム」活動への広がりとして、平成 18 年度に展開していく。
- ・「IT アーキテクト / CIO フォーラム」は平成 18 年度連続セミナーとも連携する。

(2) 日本の電子計算機 50 周年を記念し、国産計算機の展示を含めた記念全国大会、記念 DVD 出版、情報処理ハンドブック出版を推進している。

- ・記念 DVD は、pureJAVA のフルテキストサーチエンジンを搭載したツールを内蔵して出版した。
- ・情報処理ハンドブックは、インターネットの時代に適合したものが何かを引続き検討し、18 年度に編集を推進する。

## 2 . 会員の異動状況

会員種別	会員数		増減数	前年度増減数	備考 :17 年度の異動				
	17 年度末	16 年度末			入会		退会		除名
名誉会員	40	39	1	1	1 2	正会員から異動	2		
正会員	20,135	20,812	-677	-877	638 625 1	学生会員から異動 準会員から異動	1,267 2	名誉会員に異動	672
学生会員	2,321	2,168	158	210	1,219		429 625	正会員に異動	12
準会員	52	57	-5	10	7		7 1	正会員に異動	4
個人会員 計	22,548	23,076	-528	-656	2,493		2,333		688
賛助会員 (口数)	312 (472)	321 (454)	-9 (18)	-10 (3)	9 (36)		18 (18)		

\* 入会には復会、再入会を含み、退会には死亡退会を含む。正会員には終身会員 (69 名) を含む。

## 3 . 会議等に関する事項 (総会, 理事会, 各種委員会)

付録 1 ( p.15 ~ p.23 ) に掲載する。

---

---

## 4．事業の状況：研究・調査ならびに研究発表・学術講習会などの開催（定款5条1号）

---

---

### 4.1 調査研究活動 [所掌委員会：調査研究運営委員会]

研究会（35）と研究グループ（5）が研究分野ごとに「コンピュータサイエンス領域」「情報環境領域」「フロンティア領域」「調査研究運営委員会」のいずれかに所属し、調査研究活動の活性化を図った。

各研究会等の詳細、および研究発表会（147件）、シンポジウム（24件）の開催状況の詳細は、付録2（p.24～p.30）、トランザクションの発行状況は付録3（p.32～p.33）に掲載する。

#### (1) トランザクションの編集

研究会活動の一環として研究会による論文誌（トランザクション）の編集を行った。トランザクション編集委員会とジャーナル編集委員会が連携することにより、トランザクションの英文論文を英文オンラインジャーナル「IPJSJ Digital Courier」に掲載した。

#### (2) 新規分野の開拓

研究グループの新しい形態の提案を行うとともに、新たに1研究会（コンピュータサイエンス領域：組込みシステム研究会）、2研究グループ（調査研究運営委員会：教育学習支援情報システム研究グループ、ナチュラルコンピューティング研究グループ）の申請を承認した。

#### (3) 学生会員の取り組み

学生会員の研究会参加の促進と育成を目的に、学生の1研究会登録費の無料化を実施し、平成18年度も引き続き実施することとした。各領域から代表を決め、学生会員育成委員会との連絡を円滑にし、さらに学生会員勧誘に努めた。研究会登録学生会員数は前1.1項を参照。

#### (4) 研究会の学会経営への参画提案

学会活動の多くの部分を支えている調査研究（研究会）分野が、学会全体の運営により積極的に関与することで学会全体の一層の活性化が図れるよう、調査研究分野から理事候補者を推薦した。

#### (5) 積立金の有効活用

研究活動積立金の有効活用の一環として、以下を行うこととした。

調査研究運営委員会の積立金を山下記念研究賞基金へ繰り入れることにより、山下記念研究賞を継続することとした。

コンピュータサイエンス領域では優秀な学生・若手を激励するためのCS領域奨励賞を制定し、また、高校生に対する「スーパーコンピューティング・コンテスト（SuperCon2005）」の開催を支援した。

#### (6) 領域および研究会の運営方法の検討

研究会新設の手続きを見直し一部変更した。また、研究発表会およびシンポジウムの投稿支援システムに関して検討を行っている。

#### (7) 諸活動との連携・協力

領域委員会を通じて委員の派遣やプログラム編成等、全国大会への協力をを行った。

### 4.2 教育活動 [所掌委員会：情報処理教育委員会]

#### (1) 大学・大学院での専門教育向けの活動

日本技術者教育認定機構（JABEE）の委託を受けて大学専門教育の審査を実施した（情報および情報関連分野で2005年度に認定されているのは8教育プログラムとなった）。併せて、審査員の養成研修

会開催，受審コンサルティングを実施し，JABEEの各種委員会でも積極的に活動を行った。その一部として，大学院教育の認定に関して具体策の立案にも参画した。

習得すべき知識・能力に関する1次アンケートを実施した。その結果のフィードバックを含んだ第2次アンケートを実施し，全国大会で結果を公表して議論を深めた。

コンピュータサイエンス教育カリキュラム J97 の後継カリキュラム検討の出発点として CC2001 (Computing Curricula 2001) を訳出し終えた。

## (2) 社会人向けの活動

技術士委員会を通して技術士試験の試験委員の推薦を主体的に行える仕組みを作り，適用を開始した。3学会 CPD/PDE 協議会にも参加して CPD の現状の調査を開始した。

CPD : Continuing Professional Development , PDE : Professional Development of Engineers

シンポジウム「産業界が求める情報システム人材スキル」を17年9月15日に開催して産業界の要求の汲み上げに当たった。

独立行政法人科学技術振興機構 (JST) からの委託により，同機構の運営する「Web ラーニングプラザ」の2件の教材 (「コンピュータアーキテクチャ」「データ構造とアルゴリズム」) を制作した。

## (3) 初等・中等教育，大学一般向けの活動

高等学校の教科「情報」のあり方を中心に，初等中等教育における情報教育のあり方について「提言」をまとめ，シンポジウム「高校教科「情報」の現状と将来」を開いて公表し，広く意見交換を行った。

17年後半から18年初頭にかけての事件と情報教育の関連に関するコメントを18年3月6日に公表した。

大学での一般情報教育の新しい姿を示す教科書2冊を出版した。

各種のプログラミングに関するコンテストを支援し，学会後援の形で広報に努めた。

教育賞の選考を行い，優秀教材賞1件を授与した。

## 4.3 事業活動 [所掌委員会：事業推進委員会]

各開催状況の詳細は付録2 (p.31) に掲載する。

### (1) 全国大会

第68回全国大会を平成18年3月7日～10日に工学院大学新宿キャンパスにおいて開催した。今大会では，現在ホットな話題をテーマに招待講演，特別セッションなどのイベントを企画開催するとともに，通例の一般セッション，学生セッション，デモセッションを行った。講演件数は，1,078件 (一般セッション353件，学生セッション708件，デモセッション17件) の申込みを得ることができた。総参加者数は2,311名であった。

### (2) 学会創立45周年記念イベント

第68回全国大会の開催に併せて以下を開催した。

日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム

会期：平成18年3月7日 (火)，会場：工学院大学 (新宿キャンパス)

特別講演：西垣 通 氏 (東大)，基調講演：長尾 真 氏 (NICT) ほか，パネル討論

記念シンポジウムのスポンサー各社，団体による展示も併せて行った。総参加者数は359名で，立見がでるほど盛況であった。

記念論文：50年後の情報科学技術をめざして

28件の投稿があり，優秀記念論文賞1件，未来創像賞1件が選ばれた。受賞論文は記念シンポジウムにおいて表彰された (論文は2006年6月号の会誌掲載予定)。

#### 記念展示会

会期：平成 18 年 3 月 7 日（火）～9 日（木），会場：工学院大学（新宿キャンパス）

1950 年代から現在までのエポックメイキングとなったコンピュータを映像で紹介した。ETL-Mark A/製造：電気試験所（1959 年），および座席予約システムマルス 101/製造：日立・国鉄（1964 年）は現物を展示した。真空管式計数型電子計算機 FUJIC/製造：富士写真フィルム（1956 年）は等倍写真を展示した。これ以外は，本会ホームページへ置かれているコンピュータ博物館の自由閲覧とした。

#### (3) FIT2005 第 4 回情報科学技術フォーラム

FIT2005（第 4 回情報科学技術フォーラム）を平成 17 年 9 月 7 日～9 日に中央大学後楽園キャンパスにおいて開催した。査読付き論文は 308 件の投稿があり，うち 103 件が採録され，採録となった論文のみを集めた情報技術レターズ（Information Technology Letters）に掲載された。またイベント企画は，(1) 研究会提案型 12 件，(2) 現地提案型 1 件，(3) 本委員会提案型 7 件の 3 本柱で構成し，それぞれ趣向をこらしたイベントが開催された。総参加者数は 1,822 名であった。

#### (4) 連続セミナー

「組み込みシステム開発の最前線」を全体テーマとし全 6 回にわたって開催した。

連続セミナーのここ数年の参加者数，収支状況は長期低落傾向にあったが，今回はテーマがタイムリーであり，かつ産業界での注目の分野であったことから，予想の 2 倍相当の約 200 名の参加があり大変盛況であった。また，参加者へのアンケート調査では，今後もこのようなセミナーを企画開催して欲しいという回答が多かった。

#### (5) プログラミング・シンポジウム

年度内に 3 回のシンポジウムを開催した。

### 4.4 歴史調査活動 [ 所掌委員会：歴史特別委員会 ]

#### (1) コンピュータ博物館

平成 18 年 3 月に第 4 次版（プリンタ，磁気ドラム，磁気ディスク，磁気テープ）のカテゴリを追加した。この作成にあたり平成 17 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の交付を受けた。また，平成 18 年度リニューアルに向けた作業を開始し，これに関連して平成 18 年度科研費の申請を行った。

実物の所在地情報一覧を新たに設けた。

年表および日本のパイオニアの英文化を行った。

#### (2) オーラルヒストリー

オーラルヒストリー小委員会を設置し，新たに 3 名のインタビューを実施した。

#### (3) 卓越技術データベース

電気電子・情報関連技術史委員会より，昨年に引き続き卓越技術に関するデータベース化作業の委託を受け，選出作業を行った。

#### (4) 単行本「日本のコンピュータの歴史（1981-2000 年版）」の企画

第 3 冊目となる「日本のコンピュータの歴史（1981-2000 年版）」の発行に向けて活動を開始した。

#### (5) 委員長の交代

高橋茂委員長逝去のため，発田弘氏を新委員長として委嘱した。

---

---

## 5 . 事業の状況：会誌および学術図書の刊行（定款 5 条 2 号）

---

---

各発刊状況の詳細は付録 3（p.32～p.33）に掲載する。

### 5 . 1 会誌「情報処理」(月刊) [ 所掌委員会：会誌編集委員会 ]

#### (1) 会誌の編集

8月を除く毎月1回編集委員会を開催し、会誌「情報処理」第46巻4号から第47巻3号まで計12号（本文1,442ページ、広告97ページ、平均発行部数22,520部/号）を編集発行した。和田編集長のもと、記事の構成およびレイアウトを工夫し、役立つ会誌、読みやすい会誌の編集を心がけた。本年度から新たに「Haskell プログラミング」「情報技術と医療」「電子認証いまむかし」の連載を開始した。本年度は特に社会とのかかわりに目を向けた記事を多く掲載し、モニタからも好評であった。また、日経 IT プロフェッショナルのWebサイトで毎月の特集記事を紹介していく企画を引き続き実施した。

#### (2) 広告の状況

IPSJ メールニュース、バナー広告とも掲載がとぎれることなく順調に進んでいる。また、昨年1月より開始したWebでの人材募集広告も順調に伸びている。さらに8月からは巻末に賛助会員名簿をロゴ入りで掲載し、広報活動をより一層進めた。

#### (3) オンデマンド印刷サービス

会誌のオンデマンド印刷サービス事業（BookPark）を引き続き行った。BookParkでの売り上げの多くは非会員であり、順調に機能している。

### 5 . 2 「情報処理学会論文誌（ジャーナル）」(月刊) [ 所掌委員会：論文誌編集委員会 ]

#### (1) 情報処理学会論文誌（ジャーナル）の編集

8月を除く毎月1回定例の編集委員会を開催し、「情報処理学会論文誌（ジャーナル）」第46巻4号から第47巻3号まで計12号（論文297編、テクニカルノート8編、本文3,283ページ、平均発行部数5,298部/号）を編集発行した。

#### (2) 情報処理学会論文誌（ジャーナル）の月刊体制の維持

一般論文、特集論文を含めた月刊体制を維持した。

#### (3) 英文オンラインジャーナル（IPSJ Digital Courier）の刊行体制の確立と整備

非会員からの論文の投稿掲載を認めて国際会議に連動した特集号の刊行を可能にすることにより刊行体制を強化することについて検討を行い、具体的なプランを策定した。

#### (4) 論文査読管理システム（PRMS）の運用準備

論文査読管理システムの第3期開発を行い、ほぼ完成までこぎつけた。平成18年3月より特集号での試験運用を開始した。

PRMS：Paper Review Management System

#### (5) 情報関係学会英文論文合同アーカイブズ（IMT<sup>1</sup>）刊行

本会を含む6学会<sup>2</sup>で、平成17年10月に合同アーカイブ編集委員会（IMT 合同編集運営会議）を立ちあげ、平成18年から英文論文合同アーカイブズ（IMT）の刊行を開始することとした。情報処理学会が議長、幹事学会を務める。

1 IMT : Information and Media Technologies

2 6 学会：映像情報メディア学会，言語処理学会，人工知能学会，日本ソフトウェア科学会，ヒューマンインタフェース学会，および本会

#### (6) 会員サービス向上のための論文査読体制の強化

査読委員に関する論文誌編集細則を整備し，現在の査読委員，臨時査読員に加えて，名誉査読委員，シニア査読委員を新設し，査読委員を安定して確保できる体制を確立するとともに，論文誌編集委員会での査読遅滞論文の点検を強化し，（メタ）査読委員の交代が迅速にできるようにした。

また，論文査読のロードを均等化して各グループでバランスのとれた査読体制を実現するために，グループ再編を行った。これに伴い，キーワード表の改訂も行った。

さらに，査読における遅滞をほぼ毎月編集委員会幹事会で点検する体制を作り，論文の査読期間のさらなる短縮に努めた。この結果，平均査読期間（著者照会期間を含む）は，2001年：183日，2002年：188日，2003年：180日，2004年：168日，2005年：161日 のように短縮された。

当該年に決定された論文（取り下げとテクニカルノートを除く）の受付日から決定日までの日数（概数）。

#### (7) 特集号企画の強化

FIT 推進委員会と協議を行い，情報科学技術フォーラム（FIT）に連動した特集号を電子情報通信学会と交互に刊行することとした。

FIT : Forum on Information Technology

#### (8) 電子出版への刊行体制移行の検討

刊行コストの小さな電子出版を中心にして，論文掲載に関わる費用を大幅に引き下げるプランを策定し，移行の準備を整えた。

### 5.3 「情報処理学会論文誌（トランザクション）」 [ 所掌委員会：調査研究運営委員会 ]

研究会が編集した「情報処理学会論文誌（トランザクション）」5誌を年度内に計18号発行した。

### 5.4 学術図書

#### (1) 創立45周年記念DVD [ 所掌委員会：出版委員会 ]

機関誌，トランザクション，および研究報告を収録した創立45周年記念DVDを，平成18年3月開催の第68回全国大会に合わせて発行した。

#### (2) 情報処理ハンドブック [ 所掌委員会：出版委員会 ]

「情報処理ハンドブック」改訂のため，安西会長を委員長としたハンドブック編纂委員会を立ち上げ，正式に活動を開始した。

#### (3) 英文図書 [ 所掌委員会：英文図書委員会 ]

前年度に引き続き“Advanced Information Technology”シリーズの編集を進め，新たに2冊を刊行した。

#### (4) IT Text シリーズ [ 所掌委員会：教科書編集委員会 ]

“IT Text”シリーズの編集を進め，新たに4冊を刊行した。

また，出版契約を見直し，発行毎に学会・オーム社・編者の3者で契約書を取り交わすこととした。

## 5.5 著作権

共催の国際会議などに関する他学会との覚書の英訳版を Web にアップした。また、最高裁専門委員は、2 名を新規委員に交代し推薦した。

---

## 6. 事業の状況：標準化の推進ならびに普及啓蒙（定款 5 条 3 号）

---

### 6.1 JTC1 の最新のトピックス [所掌委員会：情報規格調査会]

#### (1) Technology Watch 活動

JTC 1 で今後取り組むべき標準化課題を検討するために、Mobile IT in Healthcare, Privacy Management, Intelligent Systems, Grid Computing, ITU-T Technology Watch Initiative というテーマで Technology Watch Workshop を開催した。

#### (2) Accessibility SWG の活動

SWG on Accessibility が 2005 年 4 月に設立され、国内ではこれに対応するため「アクセシビリティ SWG 小委員会」を設置し、当面の役割として、4 月の第 1 回総会（英国）への対応、7 月のタスクグループ会議（トロント）への対応、9 月の第 2 回総会（日本）の準備、国内の IT Accessibility 活動へのインタフェースを司る、を定めて活動を開始した。

#### (3) JTC 1 Directives

JTC 1 はその Directives を ISO/IEC の Directives と可能な限り整合化し、JTC 1 固有の手順は ISO/IEC の Directives に対する Supplement（補足指針）として作成する方針を明確にした。また、2005 年 6 月ジュネーブでの JTC 1 Directives Ad Hoc 会議で提案された JTC 1 SWG on Directives を設置することを決定した。その役割は、既存の手順の実施状況をモニターし、効果を評価し、必要なら変更を提案すること、ならびに ISO および IEC と協力して整合化を図った手順を定めることである。

#### (4) 特許

JTC 1 バンフ総会で以下の特許関連の決議を行った。

JTC 1 での特許声明書フォーマットを承認し、JTC 1 はすべての特許声明はこのフォーマットを可能な限り用いるべきであることを推奨する。

すべての特許声明書は ISO と IEC の中央事務局に直接送付されるべきこと、また、特許 DB がフルに利用できるようになるまでの間は、中央事務局に特許声明書の受領を該当 SC に通知するよう要請した。

JTC 1 は、ISO、IEC、ITU-T が単一の特許 DB 上に特許情報を集中化することを支持し、特許声明書に含まれるすべての情報を DB に入れるべきこと。

WSC での IPR 活動の状況をモニターし、その結果に基づき、必要であれば、JTC 1 Directives の変更を JTC 1 に提案するよう JTC 1 SWG-Directives に指示した。

日本が提出した特許 DB への検索機能の追加等の改善要望を特許 DB の今後の継続する開発の中で中央事務局が考慮するよう奨励すること。

#### (5) 国際規格の出版・投票状況

2005 年の国際規格の出版数は、IS 140 件、TR 23 件で合計 172 件、一方、2005 年に国際規格案となったのは FDIS（DIS を含む）112 件、DTR 13 件で合計 125 件が投票に付された。

## 6.2 日本の活動状況 [所掌委員会：情報規格調査会]

### (1) 国内委員会の開催状況

事業執行関連：30回，技術活動関連：468回

### (2) 国内委員会への参加者

委員：1,184名，オブザーバ：213名，メールメンバ：7名

### (3) 国際会議への参加

全部で285回の会議が開催され，日本からは242回の会議に1,338名が参加した。

### (4) 国際的役職引受け

議長：4名　　コンビーナ：9名　　ラポータ：2名　　SC セクレタリアート：4名　　WG セクレタリアート：3名　　プロジェクトエディタ：164プロジェクトで89名

---

## 7. 事業の状況：情報技術関連の国際学協会への加盟ならびに連絡・協力（定款5条4号）

---

### 7.1 国際活動 [所掌委員会：国際業務委員会，IFIP 委員会]

国際会議の開催状況は付録4（p.34）に掲載する。

#### (1) IEEE-Computer Society（IEEE-CS）との連携・協力

IEEE-CSと本会がfounder（毎年共催，第6回目）の国際会議「The 2006 Symposium on Applications and the Internet（SAINT2006）」を開催した。

#### (2) Korea Information Science Society（KISS）との連携・協力

第68回全国大会においてKISS副会長を招聘し招待講演が行われた。

#### (3) South East Asia Regional Computer Confederation（SEARCC）活動への参加

9月下旬にオーストラリア（シドニー）で開かれた理事会ならびに大会に，SEARCC日本代表が出席した。

#### (4) International Federation for Information Processing（IFIP）の活動状況

IFIP日本代表として，新たに齊藤忠夫氏が就任した。

会員加盟状況（Full Member）は52ヶ国である。

WITFOR2005が8月31日～9月2日にポツワナで開催された。参加者900名。

GA2005が8月28日～30日にポツワナで開かれ中津SG16-hairがIFIP日本代表代理として出席した。

SG16は，TCへの格上げを検討している。

#### (5) IFIP 委員会の活動

10月にIFIP委員会を開催した。GA2005報告ならびに各TC日本代表からの年間活動報告を報告を行った。また，本会におけるIFIP活動の広報強化としてIFIP関連の国際会議をIPSJメールニュースへ積極的に送信した。さらに会誌へ，会議レポート（SEC2005，DNS2005）を掲載，日本の提案に基づくIFIPのEC（SG16）に関する記事を掲載した。

---

---

## 8．事業の状況：関連学協会との連絡および協力（定款5条5号）

---

---

### 8．1 関連学協会・日本学術会議

(1) 電気・情報関連学会連絡協議会への参加

電気・情報関連学会連絡協議会に参加し、各学会の共通の問題について意見交換を行った。

(2) 日本工学会への参加

日本工学会に参加し、関連学協会の共通の問題について意見交換を行った。

(3) 研究発表・学術講習会等の共催

電子情報通信学会（情報・システムソサエティほか）との共催による「情報科学技術フォーラム（FIT）（前4.3項参照）」他、研究発表会および学術講習会において関連学協会等と適宜共催を行った。

(4) 日本学術会議への協力

日本学術会議の改革に伴い、新たに日本学術会議協力学術研究団体として登録した。

### 8．2 会議の協賛後援等 [ 所掌委員会：事業推進委員会、国際業務委員会 ]

(1) 国内会議の協賛・後援等

「理研シンポジウム：ものづくり情報技術統合化研究」（理化学研究所主催，平成17年6月9日～10日），ほか113件の協賛・後援等を行った。

(2) 国際会議の協賛・後援等

「第11回日独シンポジウム」（日独シンポジウム主催，平成17年9月14日～15日），ほか25件の協賛・後援等を行った。

---

---

## 9．事業の状況：その他，目的を達成するために必要な事業（定款5条6号）

---

---

### 9．1 入会促進・広報活動

(1) 学生会員の獲得と育成

前1.1項の通り，学生会員の獲得と育成を推進した。

(2) 実務家の取り込み

技術応用活動（次9.2項）により，実務家の取り込みに向けた一つの運営体制の枠組みを創出した。

(3) 新たな賛助会員の取り込みと増口

技術応用活動と連携した新たな賛助会員の取り込みと，既存の賛助会員の増口に努め，次年度の大きな口数増加を得ることができた（18年度賛助会員増口予定数：6社137口（17年度末現在））。

(4) その他

各種行事等の場における入会促進，電子メールによる学会紹介，IPJSJ メールニュースの充実等の広報活動，ホテル・レンタカー等会員優待サービスの充実に努めた。また，情報関連展示会の場において本会の活動を紹介した。

## 9.2 技術応用活動

### (1) 「ソフトウェアジャパン2006」の開催

「ソフトウェアジャパン2006」（平成18年2月17日、東京コンファレンスセンター）を企画開催し、産業界とのコラボレーションを推進した。参加者数は147名であった。

### (2) 実務家を中心とするコミュニティ「ITフォーラム」の立ち上げ

実務家を中心とするコミュニティ「ITフォーラム」を立ち上げ、「ソフトウェアジャパン2006」の会場でWebサイトを公開周知した。さらに、傘下に「サービスサイエンスフォーラム」「ITアーキテクト/CIOフォーラム」を立ち上げ、18年度から実質的な運営を開始する。

### (3) 日経ITプロフェッショナルのメルマガへの会誌記事の掲載

日経ITプロフェッショナルのメルマガに会誌記事をアレンジして掲載し、学会の知名度向上を図った。

## 9.3 運営の合理化等に関する事項

### (1) 選挙制度の改定

選挙制度検討WGを設け検討を行い次の3点を改定し、および 項については平成18年度役員改選選挙から実施した。

学会活動の多くの部分を支えている調査研究（研究会）分野が、学会全体の運営により積極的に関与することで学会全体の一層の活性化が図れるよう、調査研究分野からの役員候補者推薦を可能とさせ、「調査研究」担当を単独枠とした。

新領域への活動の拡大など、将来構想の実現に十分な対応ができるよう、新たに「企画」担当を設置するとともに、理事の担務と選出枠を見直した。

会長職の企業と大学の所属バランスについて検討を行い、産業界との連携を強化し学界とのバランスを保つため、企業所属の会長は、多方面に影響力のある企業のトップの方を迎えられるよう、関連規程を見直した。

### (2) 公益法人改革への対応

18年度改正施行の新たな公益法人会計基準に対応するべく、会計規程を改訂整備するとともに、本年度から外部監査を導入した。また、20年度改正に向けた公益法人制度改革の動向について、適宜、情報収集を行っている。

### (3) 電子化の推進

学会情報システムの中期計画の評価と見直しを実施した。また、今後の課題の抽出と優先順位付けを行った。

マネジメントシステムの機能強化とユーザビリティ改善を行った。

論文査読管理支援システムの3次開発を推進し、一部の論文誌特集号から試行を開始した。

研究報告、シンポジウム論文の電子投稿受付システムの仕様を検討した。引き続き仕様検討を行い、次年度に構築を予定する。

総合デジタルライブラリ会員制度の検討を行い、学会電子図書館上で実現可能の見通しを得た。

英文ホームページの充実を図った。

スパムメール対策用アプライアンスサーバを導入し、セキュリティ強化に努めた。

内閣官房情報セキュリティセンター（NISC）の「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準」に関するパブリックコメント募集に対して意見書を提出した。

## 9.4 支部活動

支部長会議を平成 17 年 7 月 22 日および平成 18 年 1 月 31 日に開催し、各支部の活動報告および本部・支部間の意見交換を行うとともに、学生会員の拡大に向けた協力等を支部にお願いした。

### (1) 北海道支部（支部長：嘉数侑昇）

支部総会（平成 17 年 4 月 26 日，於 北大，出席者 88 名（委任状 77 名を含む）），支部臨時総会：  
支部選奨規約の改定（平成 17 年 10 月 7 日，於 北海道情報大，出席者 150 名（委任状 109 名を含む））  
情報処理北海道シンポジウム 2005（平成 17 年 10 月 7 日，於 北海道情報大，参加者 150 名）  
電気関係学会北海道支部連合大会（平成 17 年 10 月 22 日～23 日，於 北大）  
幹事会（2 回），評議員会（2 回），支部奨励賞選定委員会（1 回）  
支部奨励賞，支部技術賞，支部長賞表彰

### (2) 東北支部（支部長：西関隆夫）

支部総会（平成 17 年 4 月 27 日，於 東北大，出席者 182 名（委任状 167 名を含む））  
電気関係学会東北支部連合大会（平成 17 年 8 月 25 日～26 日，於 岩手大，一般講演 346 件，延参加者 650 名）  
講演会（5 回），研究会（5 回）  
役員会（1 回），幹事会（1 回）  
支部奨励賞，支部学生奨励賞，支部野口研究奨励賞表彰

### (3) 東海支部（支部長：末永康仁）

支部総会（平成 17 年 5 月 12 日，於 愛知厚生年金会館，出席者 300 名（委任状 257 名を含む））  
電気関係学会東海支部連合大会（平成 17 年 9 月 15 日～16 日，於 名城大，一般講演 637 件，オーラルセッション 544 件ほか，大会参加者 1,238 名）  
講演会（7 回），研究会他（6 回），学生研究発表会支援（1 件）  
評議員会（3 回），幹事会（5 回）  
学生論文奨励賞表彰

### (4) 北陸支部（支部長：木村春彦）

支部総会（平成 17 年 5 月 12 日，於 金沢大，出席者 107 名（委任状 86 名を含む））  
電気関係学会北陸支部連合大会（平成 17 年 9 月 24 日～25 日，於 石川工業高専）  
講演会（5 回），見学会（1 回），学生研究発表会  
幹事会・評議員会（3 回）  
支部優秀学生表彰

### (5) 関西支部（支部長：萩原兼一）

支部総会（平成 17 年 5 月 13 日，於 新阪急ビル，出席者 408 名（委任状 383 名を含む））  
支部大会（3 研究会合同開催）（平成 17 年 10 月 28 日，於 阪大，参加者 231 名，論文発表 48 名）  
環境知能研究会（3 回），ビジュアルインフォメーション研究会（4 回），VLSI システム研究会（3 回），セミナー（2 回），小中学生のための情報科学教室（1 回），講演会（1 回），シンポジウム支援（3 回）  
評議員会・幹事会合同会議（1 回），幹事会（5 回）  
学生奨励賞，特別奨励賞表彰

### (6) 中国支部（支部長：高橋則雄）

支部総会（平成 17 年 5 月 13 日，於 広島大学，出席者 151 名（委任状 131 名を含む））

電気・情報関連学会中国支部連合大会（平成 17 年 10 月 22 日，於 福山大）  
講演会（8 回），講習会（1 回），見学会（1 回），研究会・シンポジウム（8 回）  
評議員会（3 回），幹事会（3 回）  
中国地区電気・情報関連学科優秀卒業生表彰

(7) **四国支部**（支部長：古川善吾）

支部総会（平成 17 年 5 月 13 日，於 香川大学，出席者 84 名（委任状 71 を含む））  
電気関係学会四国支部連合大会（平成 17 年 9 月 28 日，於 四国電力）  
講演会等（4 回）  
幹事会・評議員会（4 回）  
四国支部奨励賞表彰

(8) **九州支部**（支部長：山下雅史）

支部総会（平成 17 年 5 月 13 日，於 九州大学，出席者 209 名（委任状 193 名を含む））  
電気関係学会九州支部連合大会（平成 17 年 9 月 27 日～28 日，於 福岡工大）  
火の国情報シンポジウム 2006（平成 18 年 3 月 13 日～14 日，於 熊本大）  
幹事会（3 回），評議員会（1 回）  
若手の会セミナー（1 回），講演会等（6 回）  
奨励賞表彰

**9.5 表彰等** 付録 5（p.35～p.37）参照

**9.6 その他**

事務局職員の年度末在籍者は 24 名（本部 16 名，規格 8 名）である。

以上









各種委員会

委員長・主査， 副委員長・財務委員，幹事・副査， 担当理事（担務）、\*オブザーバ，アドバイザー委員

1. 総務

1.1 総務財務運営委員会

/ 旭 寛治、小橋喜嗣、丸山文宏、平川秀樹、前田 章

開催年月日	主な議事事項	会議結果
平成17年5月18日	1. 通常総会関連事項 / 新任役員説明会資料 2. 平成17年度役員担当業務 3. 平成16年度監事意見 4. 公益法人の適正な運営（文部科学省からの通知）	確認 会長確認後、理事会へ提案 承認 理事会へ報告 確認 理事会へ報告
平成17年6月20日	1. 内部留保および諸活動積立金の対応 2. リスク対応のための基金関連の預金先移行 3. 長尾真記念特別賞基金の設置 4. 外部監査の導入と契約 5. 定款の一部変更（理事会開催回数）の認可 6. 通常総会の日程変更	確認 理事会へ提案 確認 承認 理事会へ提案 承認 理事会へ提案 確認 理事会へ報告 承認 理事会へ提案
平成17年7月21日	1. 平成18年度役員・代表会員選挙手続き 2. 12月役員検討会の開催と2月理事会の取りやめ 3. 本会財務構造の課題と対応	確認 理事会へ提案 承認 理事会へ提案 確認
平成17年8月23日	1. 平成18年度予算編成方針 2. 事務局職員手当：17年12月賞与支給月数の増加	承認 理事会へ提案 承認 理事会へ提案
平成17年9月13日	1. 賃金規則の改訂（人事院勧告準拠内容） 2. 期中監査報告	承認 理事会へ提案 確認 理事会へ報告
平成17年10月20日	1. 税務調査報告 2. 海外誤送金に関する対応状況 3. 「日本学術会議協力学術研究団体」への登録	確認 理事会へ報告 承認 理事会へ提案 確認 理事会へ報告
平成17年11月17日	1. 論文誌刊行体制の改定に関する財務的検証 2. 18年度事業計画概要 3. 18年度役員候補者選考投票結果と立候補依頼順位 4. 12月役員検討会テーマ	承認 論文誌担当理事に報告 承認 理事会へ提案 承認 理事会へ提案 確認 理事会へ報告
平成17年12月16日	1. 18年度役員候補者立候補状況 2. 選挙投票の電子化	確認 理事会へ報告 継続検討
平成18年1月27日	1. 18年度事業計画および予算（1次案） 2. 17年度事業報告および決算見込み（1月取纏め状況） 3. 名誉会員の決定方法	確認 理事会へ提案 確認 理事会へ報告 承認 理事会へ提案
平成18年3月15日	1. 平成18年度役員・代表会員選挙集計結果 2. 平成18年度事業計画・予算 / 17年度事業報告・決算見込み 3. 第49回通常総会次第 4. 18年度役員担務	確認 会長確認後、理事会へ報告 確認 理事会へ提案 確認 理事会へ提案 検討結果を会長へ照会

1.2 支部長会議

/ 安西祐一郎、白鳥則郎、旭 寛治、小橋喜嗣、丸山文宏、平川秀樹、前田 章、各支部長：嘉数侑昇（北海道）、西関隆夫（東北）、末永康仁（東海）、木村春彦（北陸）、萩原兼一（関西）、高橋則雄（中国）、古川善吾（四国）、山下雅史（九州）

[平成17年7月27日、平成18年1月31日]
本部-支部の意見交換 / 学生会員の育成および増強 / 事業計画・予算 理事会へ報告

1.3 学生会員育成委員会

益田隆司、萩谷昌己（調査研究運営委員長）、旭 寛治、小橋喜嗣、丸山文宏、平川秀樹、前田 章

[平成17年7月21日、平成18年1月27日]
IPSJ Digital Courier船井若手奨励賞の設置および候補者推薦 理事会へ提案・報告
その他、各支部・各領域の学生会員担当者を通じた勧誘の実施 / 学生会員の1研究会員登録費の無料化の継続実施 / 学生会員へのアンケート実施による要求と実態把握 / 正会員への移行率向上のための検討ほか

1.4 選挙制度検討WG

/ 旭 寛治、白鳥則郎、小橋喜嗣、平川秀樹、監事：阪田史郎、水野忠則

[平成17年6月13日、7月13日、8月24日、平成18年1月23日、2月23日]
研究会組織からの理事候補者の推薦 / 理事選出枠の改定 / 企画担当理事の新設 理事会へ提案

1.5 社会提言検討WG

/ 旭 寛治、白鳥則郎、小橋喜嗣、平川秀樹

[平成18年2月23日]

社会への提言等の情報発信に関する対応体制 (WGの設置と対応手順) 理事会へ提案

1.6 電子化委員会

/ 下間芳樹、萩原兼一、小橋喜嗣、久世和資、土井美和子、西田豊明、松本裕治、丸山文宏、山田敬嗣

[平成17年6月28日、8月30日、10月25日、11月24日、平成18年1月31日、3月14日]

学会情報システムの課題と中長期計画 理事会へ問題提起、継続検討

総合デジタルライブラリ (総務財務へ検討移行) / span撲滅策 / マネジメントシステムと会員認証ほか 継続検討

論文査読管理システム / 研究会電子投稿システムほか 進捗状況確認

1.6.1 セキュリティ委員会

村山優子、下間芳樹、萩原兼一、大谷和子、岡本栄司、菊池浩明、佐々木良一、寺田真敏、鳥居 悟、丸山 宏

[電子メールベース]

「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準」に関するパブリックコメント 内閣官房情報セキュリティセンターに提出

2. 調査研究活動

2.1 調査研究運営委員会

萩谷昌己、久世和資、竹林洋一、富田悦次、橋田浩一、鯉坂恒夫、石田 亨、今井 浩、尾家祐二、小林哲則、妹尾義樹、間瀬健二

開催年月日	主な議事事項	会議結果
平成17年5月16日	1. 調査研究からの理事候補者の選出方法 2. 研究会新設手続きの変更	確認 各領域で検討 確認 各領域で検討
平成17年7月19日	1. 調査研究からの理事候補者の選出方法 2. 研究活動積立金の活用方法 3. 学生会員の勧誘と育成	承認 理事会へ提案 意見交換 各研究会へ依頼
平成17年10月18日	1. 平成18年度研究会登録費算定方法 / 研究会等の継続・新設 2. 研究会論文誌発行計画 (B10) 3. 研究会新設手続きの変更 4. 山下記念研究賞の財源：基金繰入	承認 理事会へ提案 承認 理事会へ報告 承認 理事会へ報告 確認 各領域で検討
平成18年3月13日	1. 山下記念研究賞の継続と基金増額、関連規程改訂 2. シンポジウム等開催内規と積立金 3. 研究発表会支援システム 4. 研究グループの資料の扱い 5. 調査研究分野の主要引継事項	承認 理事会へ提案 引続き検討 承認 電子化委員会へ予算申請 承認 確認 次期委員長に提出

2.2 コンピュータサイエンス領域委員会 (山下記念研究賞選定委員会を兼ねる)

富田悦次、今井 浩、久世和資、天野英晴、安崎篤郎、石川 博、加藤和彦、神戸尚志、北 栄輔、羽生田栄一、平田富夫、八杉昌宏

平成17年4月22日	領域共通-1. 領域委員長、財務委員の交替 領域共通-2. 調査研究からの理事候補者の推薦方法	理事会へ報告 調査研究運営委員会の提案を了承
平成17年7月7日	領域共通-1. 平成17年度山下記念研究賞受賞候補者 領域共通-2. 平成17年度学会補助額 / 共通費賦課 / シンボ事務諸費 領域共通-3. 研究会新設手続きの変更 領域共通-4. 学生会員の勧誘と育成	承認 理事会へ提案 確認 調査研究運営委員会の提案をほぼ了承 各領域から担当者を選出
平成17年9月28日	領域共通-1. 研究会の新設・継続 領域共通-2. 平成18年度研究会登録費 / Trans予算 / シンボ事務諸費 領域共通-3. 山下記念研究賞の財源等 領域共通-4. 研究活動積立金の扱い	承認 理事会へ提案 承認 調査研究運営委員会へ 調査研究運営委員会の提案をほぼ了承 意見交換
平成18年3月2日	領域共通-1. 17年度活動状況 / 18年度計画 領域共通-2. 山下記念研究賞の継続と基金増額、関連規程改訂 領域共通-3. シンポジウム等開催内規と積立金 領域共通-4. 研究グループの資料 CS領域分-1. CS領域奨励賞の施行	確認 承認 継続検討 IE領域の提案を承認 調査研究運営委員会へ 承認

### 2.3 情報環境領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

尾家祐二、間瀬健二、竹林洋一、相原玲二、市川照久、大野邦夫、小花貞夫、木下俊之、小池 淳、斎藤隆文、中小路久美代、中島秀之、東野輝夫、藤村直美、宗森 純、村山優子、吉岡真治、渡辺 尚

[平成17年4月22日、7月11日、10月3日、平成18年2月13日]

いずれもコンピュータサイエンス領域委員会の領域共通事項に同じ。

### 2.4 フロンティア領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

/ 橋田浩一、小林哲則、相田 満、飯田弘之、植村俊亮、上林憲行、川合 慧、岸上順一、島津 明、谷口倫一郎、中村 哲、星野准一、堀内靖雄、山田誠二

[平成17年4月27日、6月30日、9月21日、平成18年2月21日]

いずれもコンピュータサイエンス領域委員会の領域共通事項に同じ。

### 2.5 トランザクション編集会議

萩谷昌己、天野英晴、安崎篤郎、加藤和彦、北 栄輔、谷口倫一郎、吉岡真治、鯉坂恒夫、阿部昭博、石川 博、石川 裕、伊東幸宏、今泉貴史、岡田 稔、神戸尚志、渋谷哲朗、城 和貴、仲尾由雄、八杉昌宏、山崎克之、山田誠二、横田治夫、横矢直和

[平成17年10月24日] トランザクションとDigital Courierに関する課題ほか

## 3. 教育活動

### 3.1 情報処理教育委員会（教育賞選定委員会を兼ねる）（傘下の委員会は掲載略）

箕 捷彦、角田博保、角 行之、本位田真一、富田悦治、有澤 誠、市川照久、牛島和夫、大岩 元、神沼靖子、川合 慧、久野 靖、黒川恒雄、佐々木良一、武井恵雄、竹井大輔、富樫 敦、都倉信樹、中川正樹、中森真理雄、西田知博、疋田輝雄、堀内征治、望月徹英、山本昌弘、弓場敏嗣、米崎直樹

[平成17年4月5日、5月13日、6月16日、平成18年3月9日]

教科「情報」試行試験の実施案 / 委員会規程の一部変更 / 情報教育に関する提言 / 教育賞の選定 理事会へ提案

その他、CPD・PDEの対応、J97後継カリキュラムの検討等、傘下の各委員会からの報告と今後の対応検討

## 4. 事業活動

### 4.1 第68回（平成18年春）全国大会プログラム委員会

椎塚久雄、菅村 昇、阿草清滋、土井美和子、酒井哲也、須田宇宙、祖父江恒夫、高汐一紀、田中久弥、寺田真敏、塚本節男、永野秀尚、松下 智、水田秀行、三宅 滋、山田敬嗣、山田 誠二

[平成17年5月11日、7月6日] 第68回大会の実施運営に関わる検討実施およびプログラム編成。

### 4.2 第68回（平成18年春）全国大会組織委員会 兼 学会創立45周年記念イベント企画委員会

/ 白鳥則郎、 / 山田敬嗣、小橋喜嗣、丸山文宏、土井美和子、西田豊明、竹林洋一、久世和資、下間芳樹、松本裕治、本位田真一

[電子メールベース] 第68回全国大会および記念イベントの実施運営に関わる検討実施。

### 4.3 事業推進委員会

/ 山田敬嗣、 / 阿草清滋、小橋喜嗣、久世和資、土井美和子、平川秀樹、前田 章、丸山文宏

[平成17年11月10日] 18年度連続セミナー等の企画運営、ほか各イベント関連進捗状況管理。

### 4.4 FIT推進委員会

/ 白鳥則郎、村岡洋一、阿草清滋、雨宮真人、荒井秀一、植芝俊夫、久世和資、佐藤 敦、清木 康、( )西田豊明、橋田浩一、森本正志、山田敬嗣、大和淳司、湯淺 太一

[平成17年6月8日、11月9日、平成18年1月25日] FITの運営推進に関わる検討実施、FIT Internationalの検討

### 4.7 プログラミング・シンポジウム幹事会

多田好克、粕川正充、鈴木 貢、高岡詠子、田中哲朗、中村嘉志、前田敦司、和田 勉

[平成17年7月8日、10月21日、12月6日] 夏のプロシン / 若手の会 / プロシンに関する検討実施。

## 5. 歴史調査活動

### 5.1 歴史特別委員会（コンピュータ博物館実行小委員会は掲載略）

高橋 茂 / 発田 弘(18年1月から)、 松永俊雄、( )旭 寛治、鶴飼直哉、浦城恒雄、淵 一博、前島正裕、山田昭彦、和田英一、\*宇田 理、\*宮城嘉男

[平成17年4月25日、7月7日、12月2日、平成18年2月20日]

オールラヒストリー / コンピュータ博物館 / 卓越技術データベース / 「日本のコンピュータの歴史」 各企画運営および進捗管理

## 6. 機関誌 / 出版活動

### 6.1 会誌編集委員会

和田英一、 土井美和子、 石田 亨、天野真家、井手一郎、片岡欣夫、片山 博、菊田泰代、坂井修一、鈴木幸太郎、田中穂積、前田敦司、増井俊之、松下 智、丸山 宏、三宅 滋、三宅英太、村田剛志、安信千津子、山崎憲一

[平成17年4月12日、5月10日、6月14日、7月12日、9月13日、10月4日、11月7日、12月13日、平成18年1月16日、2月14日、3月14日]

全回共通：会誌の編集に関する検討実施。

### 6.2 論文誌編集委員会（幹事会）（論文賞選定委員会を兼ねる）

/ 西田豊明、 / 平田圭二、黒橋禎夫、関川 浩、安本慶一、細部博史、宮田高志、市瀬龍太郎、寺田真敏、屋代智之、朴 美娘、鯉坂恒夫

[平成17年4月1日、5月9日、6月9日、7月4日、9月2日、10月11日、11月1日、12月2日、平成18年1月6日、2月1日、3月2日]

全回共通：論文誌の編集に関する検討実施。

関連学会との英文論文合同アーカイブズ（IMT）刊行 / 論文誌刊行体制の改定（英文論文の電子出版） / 査読委員システムの改善  
その他、論文査読管理システムの構築 / 編集委員会グループの再編ほか

### 6.3 出版委員会

/ 土井美和子、 / 石田 亨

[電子メールアドレス] 会誌の歴史関連記事の無料公開と包括転載許諾 / 出版関連契約ほか。

### 6.3.1 英文図書出版委員会

近山 隆、 江崎 浩、井上智雄、奥乃 博、河原達也、喜連川優、滝沢 誠、藤田友之

[平成17年6月24日、9月22日、12月9日] 英文図書の発行に関する検討実施。

### 6.3.2 教科書委員会

松下 温、 阪田史郎、伊藤 潔、井戸上彰、今城哲二、大河内正明、駒谷昇一、坂下善彦、曾根原登、( )西田豊明、( )本位田真一

[平成17年4月21日、9月15日] 教科書シリーズの発行に関する検討実施。

### 6.4 著作権委員会

/ 土井美和子、 / 石田 亨、天野真家、大谷和子、久世和資、下間芳樹、西田豊明、丸山 宏、米田英一

[電子メールアドレス] 最高裁判所への専門委員候補者推薦ほか、著作権に関わる対応処理。

### 6.5 ハンドブック編纂委員会

/ 安西祐一郎、 / 白鳥則郎、 石田 亨、喜連川優、久世和資、竹林洋一、土井美和子、富田悦次、萩谷昌己、橋田浩一、東野輝夫、平田圭二、前田 章、松田晃一、丸山文宏

[平成17年6月28日、7月27日、9月5日、11月8日] ハンドブック編纂に関する検討。

## 7. 技術応用活動

### 7.1 技術応用運営委員会

徳田英幸、 / 青山幹雄、 石田 亨、上原三八、竹林洋一、平田圭二、丸山 宏、丸山文宏

[平成17年10月7日、10月14日、10月21日、11月4日、11月18日、12月13日]

ITフォーラムの創設検討 / ITフォーラムのWebサイト立上げ / ソフトウェアジャパンの開催 / 会誌特集号との連携検討ほか。

## 8. 標準化活動

### 8.1 規格役員会

石崎 俊、大蒔和仁、加治佐俊一、佐藤哲司、高田秀之、成田博和、原田節雄、平野芳行、前田 章、村田 裕、村谷公俊、山本 泰

開催年月日	議事事項	会議結果
[ 定例議題 ] 規格賛助員の入退会等、委員会関連変更、国際会議派遣・招致、月次決算		以下、定例議題以外を掲載
平成17年4月8日	1. 規格会計16年度決算 / 17年度予算 2. 今後のプレスリリースのあり方	承認 理事会へ提案 承認
平成17年5月13日	1. 標準化功績賞 / 標準化貢献賞	承認
平成17年6月10日	1. 情報技術標準化フォーラム 2. Accessibility SWG	承認 承認
平成17年7月8日	1. リスク対応のための基金関連の預金先移行 2. 学会員へ標準化活動の周知方法 3. 情報処理ハンドブックの改訂対応	承認 継続検討 承認
平成17年9月9日	1. NPプロジェクトエディタ	承認
平成17年10月17日	1. 情報技術標準化フォーラム「静止画符号化の最新標準化動向」報告	確認
平成17年11月21日	1. 経済産業省「標準化活動100周年記念事業」への協力	具体的内容は継続検討
平成17年12月12日	1. 技術委員会の回答処理票の改善	確認 技術委員会で審議
平成18年1月16日	1. サーバの更新 2. 標準化に関する誌連載記事の依頼	継続審議 承認
平成18年2月13日	1. 役員担務の変更	承認
平成18年3月13日	1. 符号化文字集合の標準化調査研究事業 2. 経済産業省「標準化活動100周年記念事業」への協力：具体的内容	承認 承認

### 8.2 技術委員会

石崎 俊、大蒔和仁、加治佐俊一、佐藤哲司、高田秀之、成田博和、原田節雄、平野芳行、村田 裕、村谷公俊、山本 泰、他52名

[ 平成17年4月22日、5月27日、6月24日、7月29日、9月2日、10月7日、11月4日、12月16日、平成18年1月27日、2月24日、3月24日 ]  
投票案件およびコメント案件の検討対応 / 国際会議報告の確認ほか。

## 9. 国際活動

### 9.1 IFIP委員会

/ 白鳥則郎、齊藤忠夫 (IFIP日本代表)、 / 松本裕治、 / 青山幹雄、伊藤貴康、内木哲也、大岩 元、寛 捷彦、亀田壽夫、木村文彦、黒須正明、佐々木良一、田島謙二、中津良平、南谷 崇、西田豊明、菟田 弘、樋口和雄、松本恒雄

[ 平成17年10月21日 ] IFIP年次総会・GA2005報告 / 各TC年間活動報告 / 本会におけるIFIP活動の広報方法ほか。

## 10. その他委員会：委員は以下のサイトを参照

<http://www.ipsj.or.jp/01kyotsu/meibo/h17/index.html>

## 付2．研究会および研究発表・学術講習会等一覧

[ 研究会等の詳細 ]

研究会等の名称 ( ( ) 内：英略称、*：研究グループ )	主査名 ( 運営委員数 )	登録者数
[ コンピュータサイエンス領域 ]		
データベースシステム ( DBS )	石川 博 ( 33 )	582
ソフトウェア工学 ( SE )	羽生田栄一 ( 45 )	632
計算機アーキテクチャ ( ARC )	天野英晴 ( 37 )	430
システムソフトウェアとオペレーティング・システム ( OS )	加藤和彦 ( 30 )	407
システムLSI設計技術 ( SLDM )	神戸尚志 ( 38 )	376
ハイパフォーマンスコンピューティング ( HPC )	安崎篤郎 ( 45 )	521
プログラミング ( PRO )	八杉昌宏 ( 20 )	436
アルゴリズム ( AL )	平田富夫 ( 31 )	334
数理モデル化と問題解決 ( MPS )	北 栄輔 ( 29 )	386
*組み込みシステム ( EMB )	高田広章 ( --- )	---
[ 情報環境領域 ]		
マルチメディア通信と分散処理 ( DPS )	東野輝夫 ( 45 )	508
ヒューマンインタフェース ( HI )	中小路久美代 ( 37 )	558
グラフィクスとCAD ( CG )	斎藤隆文 ( 27 )	401
情報システムと社会環境 ( IS )	市川照久 ( 22 )	309
情報学基礎 ( FI )	吉岡真治 ( 21 )	277
オーディオビジュアル複合情報処理 ( AVM )	小池 淳 ( 18 )	218
グループウェアとネットワークサービス ( GN )	宗森 純 ( 34 )	367
分散システム/インターネット運用技術 ( DSM )	藤村直美 ( 33 )	425
デジタル・ドキュメント ( DD )	大野邦夫 ( 16 )	253
モバイルコンピューティングとユビキタス通信 ( MBL )	渡辺 尚 ( 44 )	477
コンピュータセキュリティ ( CSEC )	村山優子 ( 40 )	515
高度交通システム ( ITS )	小花貞夫 ( 24 )	271
高品質インターネット ( QAI )	相原玲二 ( 19 )	163
システム評価 ( EVA )	木下俊之 ( 19 )	169
ユビキタスコンピューティング ( UBI )	中島秀之 ( 32 )	347
*放送コンピューティング ( BCC )	水野忠則 ( --- )	---
[ フロンティア領域 ]		
自然言語処理 ( NL )	島津 明 ( 29 )	639
知能と複雑系 ( ICS )	山田誠二 ( 16 )	431
コンピュータビジョンとイメージメディア ( CVIM )	谷口倫一郎 ( 56 )	667
コンピュータと教育 ( CE )	川合 慧 ( 43 )	604
人文科学とコンピュータ ( CH )	相田 満 ( 26 )	345
音楽情報科学 ( MUS )	堀内靖雄 ( 26 )	412
音声言語情報処理 ( SLP )	中村 哲 ( 28 )	338
電子化知的財産・社会基盤 ( EIP )	岸上順一 ( 22 )	218
ゲーム情報学 ( GI )	飯田弘之 ( 19 )	287
エンタテインメントコンピューティング ( EC )	星野准一 ( 23 )	122
バイオ情報学 ( BIO )	植村俊亮 ( 10 )	124
*ネットワーク生態学 ( BCC )	上林憲行 ( --- )	---
[ 調査研究運営委員会 ]		
*福祉社会システム実務 ( WSS )	菟川友宏 ( --- )	---
*教育学習支援情報システム ( CMS )	間瀬健二 ( --- )	---

1. 研究発表会（調査研究活動分）

1.1 コンピュータサイエンス領域

1.1.1 データベースシステム研究発表会

回次	開催年月	場所	発表件数	参加者数	共催団体
第136回	平成17年5月19日～20日	東京電力	14	62	
第137回	平成17年7月13日～15日	奥入瀬溪流グランドホテル	95	153	電子情報通信学会
第138回	平成18年1月26日～27日	吾妻屋シーサイドホテル	33	38	

1.1.2 ソフトウェア工学研究発表会

第148回	平成17年5月31日	化学会館	8	20	
第149回	平成17年7月28日～29日	南山大学	15	31	
第150回	平成17年11月29日	化学会館	17	30	
第151回	平成18年3月23日～24日	化学会館	23	52	

1.1.3 計算機アーキテクチャ研究発表会

第155回	平成17年5月31日	産業技術総合研究所	7	27	
第156回	平成17年8月3日～4日	武雄市文化会館	23	135	
第157回	平成17年11月30日～12月1日	北九州国際会議場	18	92	電子情報通信学会
第158回	平成18年1月24日	早稲田大学	10	61	
第159回	平成18年2月27日～3月1日	北海道大学	39	64	

1.1.4 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会

第99回	平成17年5月25日～27日	ホテルムーンビーチ	32	54	
第100回	平成17年8月3日	武雄市文化会館	14	62	
第101回	平成18年2月16日～17日	大阪大学	16	42	

1.1.5 システムLSI設計技術研究発表会

第120回	平成17年5月19日～20日	高知大学	11	62	電子情報通信学会
第121回	平成17年10月20日～21日	仙台作並温泉	34	105	電子情報通信学会
第122回	平成17年11月30日～12月2日	北九州国際会議場	34	92	電子情報通信学会
第123回	平成18年1月17日～18日	慶應義塾大学	20	40	電子情報通信学会
第124回	平成18年3月16日～17日	筑波大学	21	65	電子情報通信学会

1.1.6 ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会

第102回	平成17年6月2日	千葉工業大学	10	48	
第103回	平成17年8月3日～5日	武雄市文化会館	31	152	
第104回	平成17年10月7日	金沢工業大学	8	23	
第105回	平成18年2月27日～3月1日	北海道大学	39	91	

1.1.7 プログラミング研究発表会

第54回	平成17年6月1日	化学会館	7	26	
第55回	平成17年8月3日～4日	武雄市文化会館	16	36	
第56回	平成17年10月11日～12日	玉原国際セミナーハウス	8	21	
第57回	平成18年1月16日～17日	産業技術総合研究所	12	28	
第58回	平成18年3月16日～17日	東京大学	8	29	

1.1.8 アルゴリズム研究発表会

第101回	平成17年5月19日	九州大学	10	22	
第102回	平成17年9月16日	岐阜大学	8	24	

第103回	平成17年11月11日	山口大学	12	19	
第104回	平成18年1月20日	慶應義塾大学	10	32	
第105回	平成18年3月17日	NTT厚木R&Dセンター	8	20	

#### 1.1.9 数理モデル化と問題解決研究発表会

第54回	平成17年5月10日	名古屋大学	8	25	
第55回	平成17年6月28日	モンテカルロリゾート	11	17	
第56回	平成17年9月21日～22日	同志社大学	20	34	
第57回	平成17年12月20日	電気通信大学	13	26	
第58回	平成18年3月16日～17日	泉都（兵庫）	29	34	

### 1.2 情報環境領域

#### 1.2.1 マルチメディア通信と分散処理研究発表会

第123回	平成17年6月2日～3日	宮城大学	22	47	
第124回	平成17年9月21日～22日	神戸市産業振興センター	17	31	
第125回	平成17年11月14日～15日	東京電機大学	19	43	
第126回	平成18年3月16日～17日	佐賀大学	56	82	

#### 1.2.2 ヒューマンインタフェース研究発表会

第113回	平成17年5月27日	ミュージア川崎	10	49	
第114回	平成17年7月21日～22日	白馬ロイヤルホテル	13	29	
第115回	平成17年9月30日	宝塚造形技術大学	12	42	
第116回	平成17年11月18日～19日	高知グリーン会館	16	42	
第117回	平成18年1月13日	産業技術総合研究所	16	46	

#### 1.2.3 グラフィクスとCAD研究発表会

第119回	平成17年5月20日	日本大学	10	26	
第120回	平成17年8月18日～19日	北陸先端科学技術大学院大学	13	24	
第121回	平成17年11月18日～19日	立命館大学	21	66	
第122回	平成18年2月20日	東京農工大学	19	65	

#### 1.2.4 情報システムと社会環境研究発表会

第92回	平成17年5月27日	情報サービス産業協会	7	21	
第93回	平成17年8月25日	化学会館	5	10	
第94回	平成17年11月18日	鳥取環境大学	8	17	
第95回	平成18年3月16日～17日	専修大学	18	44	

#### 1.2.5 情報学基礎研究発表会

第79回	平成17年5月19日～20日	東京電力	14	49	
第80回	平成17年9月29日～30日	横浜国立大学	19	44	
第81回	平成17年11月2日	筑波大学	7	64	デジタル図書館ワークショップ
第82回	平成18年3月22日	東京電機大学	12	33	

#### 1.2.6 オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会

第49回	平成17年7月7日～8日	早稲田大学	14	34	電子情報通信学会
第50回	平成17年10月7日	九州大学	7	12	
第51回	平成17年12月12日～13日	北海道大学 / 名古屋大学	20	72	電子情報通信学会
第52回	平成18年3月3日	沖縄セルラー電話	7	15	

#### 1.2.7 グループウェアとネットワークサービス研究発表会

第56回	平成17年5月26日	化学会館	9	29	
------	------------	------	---	----	--

第57回	平成16年9月21日～22日	神戸市産業振興センター	17	32	
第58回	平成18年1月27日～28日	吾妻屋シーサイドホテル	33	55	
第59回	平成18年3月23日	国立情報学研究所	13	39	

#### 1.2.8 分散システム/インターネット運用技術研究発表会

第37回	平成17年5月12日～13日	伊勢刊行文化会館	17	52	電子情報通信学会
第38回	平成17年8月5日	一橋大学	12	36	
第39回	平成17年10月14日	徳島大学	12	29	
第40回	平成18年3月27日	熊本大学	26	76	

#### 1.2.9 デジタル・ドキュメント研究発表会

第50回	平成17年5月27日	トッパンフォームズ	4	23	
第51回	平成17年7月22日	岩手県立大学	7	11	電子情報通信学会
第52回	平成17年9月30日	機械振興会館	4	11	
第53回	平成18年1月27日	ジャストシステム	5	12	
第54回	平成18年3月22日	東京電機大学	12	33	

#### 1.2.10 モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会

第33回	平成17年5月25日～26日	化学会館	15	57	電子情報通信学会
第34回	平成17年9月15日	武蔵工業大学	9	32	
第35回	平成17年11月18日～19日	香川大学	30	55	
第36回	平成18年2月16日～17日	はこだて未来大学	71	108	ヒューマンインタフェース学会 電子情報通信学会

#### 1.2.11 コンピュータセキュリティ研究発表会

第29回	平成17年5月19日	名古屋大学	11	34	
第30回	平成17年7月21日～22日	岩手県立大学	70	205	電子情報通信学会
第31回	平成17年12月9日	中央大学	12	34	
第32回	平成18年3月16日～17日	佐賀大学	56	88	

#### 1.2.12 高度交通システム研究発表会

第21回	平成17年6月17日	NTTデータ	6	44	
第22回	平成17年9月5日～6日	機械振興会館	17	54	電子情報通信学会
第23回	平成17年11月18日～19日	香川大学	30	55	
第24回	平成18年3月6日～7日	愛知県立大学	12	31	

#### 1.2.13 高品質インターネット研究発表会

第15回	平成17年5月25日	名古屋大学	6	51	電子情報通信学会
第16回	平成17年7月29日	浅草ビューホテル	5	22	電子情報通信学会
第17回	平成17年10月28日	東京大学	7	30	電子情報通信学会
第18回	平成18年1月19日～20日	仙台国際センター	9	39	電子情報通信学会

#### 1.2.14 システム評価研究発表会

第9回	平成17年6月24日	アイ・アイ・エム	6	20	
第10回	平成17年8月5日	武雄市文化会館	6	22	
第11回	平成17年11月22日	京都大学	6	18	
第12回	平成18年3月20日	湯布院中央公民館	8	21	

#### 1.2.15 ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会

第8回	平成17年6月9日～10日	Jeju University	95	56	電子情報通信学会
-----	---------------	-----------------	----	----	----------

第9回	平成17年11月1日～2日	静岡大学	9	41	映像メディア学会 電子情報通信学会
第10回	平成18年2月16日～17日	はこだて未来大学	71	106	ヒューマンインタフェース学会 電子情報通信学会

### 1.3 フロンティア領域

#### 1.3.1 自然言語処理研究発表会

第167回	平成17年5月26日～27日	東京工科大学	20	68	
第168回	平成17年7月22日～23日	沖縄コンベンションセンター	23	40	
第169回	平成17年9月29日～30日	横浜国立大学	19	64	
第170回	平成17年11月21日～22日	岡山大学	28	72	
第171回	平成18年1月12日～13日	国立国語研究所	19	80	
第172回	平成18年3月27日	北陸先端科学技術大学院大学	9	27	

#### 1.3.2 知能と複雑系研究発表会

第140回	平成17年8月1日～2日	ホテルメゾン軽井沢	9	25	人工知能学会
第141回	平成17年11月8日～9日	箱根ホテル小湊園	8	122	人工知能学会
第142回	平成18年1月12日～13日	ヒルトン小樽	19	23	電子情報通信学会
第143回	平成18年3月28日	学術総合センター	7	19	

#### 1.3.3 コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会

第149回	平成17年5月12日～13日	国立情報学研究所	37	121	
第150回	平成17年9月5日～6日	東京大学	23	107	
第151回	平成17年11月17日～18日	和歌山大学	20	68	
第152回	平成18年1月19日～20日	大阪大学	19	72	
第153回	平成18年3月16日～17日	九州大学	70	100	

#### 1.3.4 コンピュータと教育研究発表会

第79回	平成17年4月23日	千里金蘭大学	8	43	
第80回	平成17年6月18日	獨協大学	8	43	
第81回	平成17年10月22日	大阪学院大学	14	50	
第82回	平成17年12月10日	鹿児島大学	16	48	
第83回	平成18年2月17日～18日	東京学芸大学	24	97	

#### 1.3.5 人文科学とコンピュータ研究発表会

第66回	平成17年5月27日	花園大学	9	55	
第67回	平成17年7月29日	山梨大学	10	34	
第68回	平成17年10月28日	万葉歴史館	7	24	
第69回	平成18年1月27日	国立教育政策研究所	12	32	

#### 1.3.6 音楽情報科学研究発表会

第60回	平成17年5月23日	化学会館	6	28	
第61回	平成17年8月4日～5日	NTT西日本	16	74	
第62回	平成17年10月14日	東京電機大学	5	37	
第63回	平成17年12月23日	大垣市情報工房スィンクホール	8	16	
第64回	平成18年2月23日	化学会館	14	41	

#### 1.3.7 音声言語情報処理研究発表会

第56回	平成17年5月26日～27日	東京工科大学	20	70	
第57回	平成17年7月15日～16日	湯の川温泉	24	48	
第58回	平成17年10月21日	早稲田大学	10	72	
第59回	平成17年12月21日～22日	東京工業大学	34	291	電子情報通信学会 日本音響学会
第60回	平成18年2月3日～4日	ホテル熱海閣	12	43	

1.3.8 電子化知的財産・社会基盤研究発表会

第28回	平成17年6月25日	早稲田大学	5	16	
第29回	平成17年11月14日～15日	東京電機大学	19	29	
第30回	平成18年2月18日	成蹊大学	6	15	
第31回	平成18年3月18日	大阪市立大学	7	29	

1.3.9 ゲーム情報学研究発表会

第14回	平成17年9月5日	Institute of Information Science, Academia Sinica	10	19	
第15回	平成18年3月7日	電子通信大学青山オフィス	10	24	

1.3.10 エンタテインメントコンピューティング研究発表会

第1回	平成17年6月4日	東京工業大学	14	48	
第2回	平成17年12月17日	東京大学	14	18	
第3回	平成18年3月13日	ATR	20	55	

1.3.11 バイオ情報学研究発表会

第1回	平成17年7月25日	産業技術総合研究所	7	46	
第2回	平成17年10月7日	京都大学	5	21	
第3回	平成17年12月22日	東京大学	14	45	
第4回	平成18年2月9日～10日	北海道大学	12	27	

## 2. シンポジウム等

### 2.1 調査研究活動分

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	共催団体
ITS産業フォーラム	平成17年4月15日	横須賀リサーチパーク	2	40	
先進的計算基盤システムシンポジウム SACSIS 2005	平成17年5月18日～20日	つくば国際会議場	44	280	電子情報通信学会 IEEE-CS
マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICO2005)シンポジウム	平成17年7月6日～8日	ホテル志戸平	204	318	
画像の認識・理解シンポジウム(MIRU2005)	平成17年7月18日～20日	淡路夢舞台国際会議場	240	415	
第10回ヒューマンインタフェース プロフェッショナルワークショップ	平成17年7月21日～22日	屋久島環境文化村 センター		26	
DAシンポジウム2005	平成17年8月24日～26日	遠鉄エンパイヤホテル	47	149	
第3回エンタテインメントコンピューティング ワークショップ	平成17年9月16日～18日	フルーツフラワーパーク	31	69	
情報教育シンポジウム	平成17年8月21日～23日	ヤマハリゾートキロロ	41	103	
MPSシンポジウム	平成17年10月11日～13日	名古屋大学	6	126	
組込みソフトウェアシンポジウム2005	平成17年10月17日～19日	日本科学未来館	30	207	
コンピュータセキュリティシンポジウム (CSS2005)	平成17年10月26日～28日	メルパルク松山	125	255	
グループウェアとネットワークサービス ワークショップ2005	平成17年11月10日～11日	水上温泉郷	27	43	
第10回ゲームプログラミングワークショップ2005	平成17年11月18日～20日	箱根セミナーハウス	12	57	注1
データベースとWeb情報システムに関する シンポジウム	平成17年11月21日～22日	日本科学未来館	33	116	
コンピュータシステム・シンポジウム	平成17年11月29日～30日	筑波大学	16	68	
デジタル・ドキュメント・シンポジウム2005	平成17年11月25日	トッパンフォームズ	6	29	
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	平成17年11月30日 ～12月1日	ホテルバシフィック沖縄	86	100	
分散システム/インターネット運用技術 シンポジウム2005	平成17年12月9日～10日	武蔵大学	13	54	
人文科学とコンピュータシンポジウム2005	平成17年12月16日～17日	東京大学	36	133	注2
2006年ハイパフォーマンスコンピューティングと 計算科学シンポジウム(HPCS2006)	平成18年1月19日～20日	東京大学 武田先端知ビル	44	135	
ISチュートリアル『情報システムの調達と システム評価 - ユーザの視点から - 』	平成18年1月20日	日本IBM	4	31	
高度交通システム2005シンポジウム	平成18年1月27日	日本科学未来館	7	89	
ウインターワークショップ2006・イン・鴨川	平成18年1月26日～27日	東洋大学 鴨川セミナーハウス	35	41	
インタラクシオン2006	平成18年3月2日～3日	学術総合センター	94	574	

注1) コンピュータ将棋協会、コンピュータ囲碁フォーラム

注2) 東京大学大学院情報学環 / 21世紀COE「次世代ユビキタス 情報社会基盤の形成」

### 2.2 教育活動分

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	共催団体
JABEE技術者教育プログラム自主研修会	平成17年8月29日(～30日)	化学会館会議室	14	49	注1
産業界が求める情報システム人材のスキル	平成17年9月15日	専修大学神田キャンパス	4	37	注2
シンポジウム 高校教科「情報」の現状と将来	平成17年10月29日	早稲田大学 大久保キャンパス	9	93	注3
JABEE技術者教育プログラム自主研修会	平成18年3月16日(～17日)	キャンパスイノベーション センター	14	18	注1
教育用プログラミング言語に関するワークショップ	平成18年3月29日	内田洋行 新川オフィス “CANVAS”	17	114	注4

注1) 電気学会、電子情報通信学会、理工系情報学科協議会

注2) 情報システム学会、経営情報学会、情報サービス産業協会、日本情報システム・ユーザー協会、情報処理学会情報システムと社会環境研究会

注3) 主催：情報処理学会 情報処理教育委員会、同初等中等教育委員会 共催：情報処理学会 コンピュータと教育委員会

後援：文部科学省、東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、茨城県教育委員会、栃木県教育委員会、埼玉県教育委員会

注4) 主催：情報処理学会 情報処理教育委員会 共催：情報処理学会 コンピュータと教育委員会、同情報処理教育委員会初等中等教育委員会  
 協力：(株)内田洋行 協賛：情報処理学会プログラミング研究会

### 3. 事業活動

#### 3.1 全国大会

名称	開催年月	場所	一般講演	招待講演	参加数
第68回全国大会	平成18年3月7日～10日	工学院大学	1,078	31	2,311

#### 3.2 学会創立45周年記念イベント

名称	開催年月	場所	一般講演	招待講演	参加数
日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム	平成18年3月7日	工学院大学		3	359
併設：記念展示会	平成18年3月7日～9日	工学院大学			(一般公開)

#### 3.3 FIT (情報科学技術フォーラム)

名称	開催年月	場所	一般講演	招待講演	参加数
FIT2005 第4回情報科学技術フォーラム	平成17年9月7日～9日	中央大学	740	63	1,822

共催：電子情報通信学会 (ISS・HCG)

#### 3.4 連続セミナー：テーマ「組み込みシステム開発の最前線」

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
組み込みソフト基礎と各社の状況	平成17年6月17日	東京電機大学	4	123
組み込み用OSの基礎と応用	平成17年7月8日	東京電機大学	5	116
組み込み用LSI	平成17年9月14日	東京電機大学	4	101
組み込みソフト開発手法・検証ツール	平成17年10月7日	東京電機大学	4	124
組み込みソフト開発事例 (組み込みOS系)	平成17年11月25日	東京電機大学	4	94
組み込みソフト開発事例 (コピキタス系)	平成17年11月28日	東京電機大学	4	92

#### 3.5 プログラミング・シンポジウム

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
夏のプログラミング・シンポジウム	平成17年9月20日～22日	戸倉上山田温泉 ホテル清風園	21	36
第38回情報科学若手の会	平成17年9月10日～12日	ウェルシティ湯河原	6	29
第47回プログラミング・シンポジウム	平成18年1月10日～12日	箱根ホテル小涌園	30	149

### 4. 技術応用活動

#### 4.1 ソフトウェアジャパン

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
ソフトウェアジャパン2006	平成18年2月17日	東京コンファレンス センター品川	8	147

## 付3．刊行物（機関誌・図書）一覧

### 1．会誌「情報処理」（月刊）

発行年月日	巻	号	発行部数	その他参考			
				特集テーマ	記事数	本文頁数	広告頁数
平成17年4月15日	46	4	22,900	21世紀卓越した情報研究拠点プログラムの目指す研究（前編）	23	128	8
平成17年5月15日	46	5	22,850	21世紀卓越した情報研究拠点プログラムの目指す研究（後編）	25	136	8
平成17年6月15日	46	6	23,000	情報社会における脆弱性にかかわる研究動向	23	130	11
平成17年7月15日	46	7	23,260	spamメールの現状と対策の動向 / コンピュータが将棋を制する日	28	128	6
平成17年8月15日	46	8	23,330	WIDEプロジェクトと最新インターネット技術研究動向	20	112	9
平成17年9月15日	46	9	21,300	検索エンジン2005 - Webの道しるべ -	19	120	5
平成17年10月15日	46	10	21,650	新世代マイクロプロセッサアーキテクチャ（前編）	19	112	11
平成17年11月15日	46	11	21,800	新世代マイクロプロセッサアーキテクチャ（後編）	18	112	7
平成17年12月15日	46	12	22,250	医療のためのデジタルヒューマン技術	18	128	11
平成18年1月15日	47	1	22,500	マルチコアにおけるソフトウェア	17	104	6
平成18年2月15日	47	2	22,690	通信と放送の融合	18	100	7
平成18年3月15日	47	3	22,710	バイオデータベースの今 / 異文化コラボレーション	22	132	8

### 2．「情報処理学会論文誌（ジャーナル）」（月刊）

発行年月日	巻	号	発行部数	その他参考			
				特集テーマ	論文数	付加頁数	本文頁数
平成17年4月15日	46	4	5,350	オープンソース時代の分散システム / インターネットの構築・運用技術	20	2	204
平成17年5月15日	46	5	5,380	産学連携論文 / 社会人学生論文	23	1	246
平成17年6月15日	46	6	5,400	システムLSIの設計技術と設計自動化	15	3	168
平成17年7月15日	46	7	5,430	インタラクション：技術と展開	24	0	284
平成17年8月15日	46	8	5,440	多様な社会的責任を担うコンピュータセキュリティ技術	32	0	352
平成17年9月15日	46	9	5,030	マルチメディア，分散，協調とモバイル（DICOM02004）	19	0	204
平成17年10月15日	46	10	5,110	量子計算と量子情報	20	0	204
平成17年11月15日	46	11	5,150	ICMU2005	22	0	242
平成17年12月15日	46	12	5,270	ユビキタスITSとモバイルアプリケーション	34	1	395
平成18年1月15日	47	1	5,270	ユビキタス社会におけるコラボレーションサービス	22	0	261
平成18年2月15日	47	2	5,290	ブロードバンド・ユビキタス・ネットワークとその応用	33	1	391
平成18年3月15日	47	3	5,460	新たな適用領域を切り開く情報システムネットワーク生態学	33	0	332

### 3．「情報処理学会論文誌（トランザクション）」（不定期）

発行年月日	巻	号	トランザクション名	発行部数	その他参考	
					論文数	本文頁数
平成17年4月15日	46	SIG6(PRO25)	プログラミング	450	4	70
平成17年5月15日	46	SIG7(ACS10)	コンピューティングシステム	1,100	11	114
平成17年6月15日	46	SIG8(TOD26)	データベースシステム	900	12	147
平成17年6月15日	46	SIG9(CVIM11)	コンピュータビジョンとイメージメディア	1,300	5	72

平成17年6月15日	46	SIG10(TOM12)	数理モデル化と応用	1,000	16	172
平成17年8月15日	46	SIG11(PRO26)	プログラミング	450	5	74
平成17年8月15日	46	SIG12(ACS11)	コンピューティングシステム	1,180	38	420
平成17年9月15日	46	SIG13(TOD27)	データベースシステム	900	7	93
平成17年10月15日	46	SIG14(PRO27)	プログラミング	450	5	74
平成17年10月15日	46	SIG15(CVIM12)	コンピュータビジョンとイメージメディア	1,350	7	68
平成17年12月15日	46	SIG16(ACS12)	コンピューティングシステム	1,180	12	152
平成17年12月15日	46	SIG17(TOM13)	数理モデル化と応用	1,000	13	142
平成17年12月15日	46	SIG18(TOD28)	データベースシステム	900	9	128
平成18年2月15日	47	SIG1(TOM14)	数理モデル化と応用	1,000	16	150
平成18年2月15日	47	SIG2(PRO28)	プログラミング	460	7	114
平成18年3月15日	47	SIG3(ACS13)	コンピューティングシステム	1,180	6	72
平成18年3月15日	47	SIG4(TOD29)	データベースシステム	900	6	75
平成18年3月15日	47	SIG5(CVIM13)	コンピュータビジョンとイメージメディア	1,360	11	119

4. その他出版（新刊）

いずれも、判型：A5、委託出版社名：オーム社

発行年月	書籍名	発行部数	本文頁数
平成17年7月20日	IT Textシリーズ 人工知能	2,000	188
平成17年9月15日	IT textシリーズ 分散処理	2,000	228
平成17年10月20日	IT textシリーズ インターネットプロトコル	2,000	272
平成17年12月20日	IT textシリーズ Linux演習	2,000	210

5. その他出版（重版）

いずれも、判型：A5、委託出版社名：オーム社

平成17年4月20日	IT textシリーズ データベース	700	196
平成17年5月25日	IT Textシリーズ（一般教育） 情報と社会	700	212
平成17年5月25日	IT Textシリーズ（一般教育） 情報とコンピューティング	700	212
平成17年9月15日	IT textシリーズ コンピュータネットワーク	500	204
平成17年10月5日	IT textシリーズ データベース	3,000	196
平成17年10月5日	IT textシリーズ ソフトウェア開発	1,000	224
平成17年10月20日	IT textシリーズ コンパイラとバーチャルマシン	700	212
平成17年12月5日	IT Textシリーズ（一般教育） 情報と社会	1,300	212
平成17年12月5日	IT Textシリーズ（一般教育） 情報とコンピューティング	1,300	212
平成17年12月10日	IT textシリーズ 認知インタフェース	900	234
平成18年1月20日	IT textシリーズ アルゴリズム論	1,200	230
平成18年1月20日	IT textシリーズ ヒューマンコンピュータインタラクション	1,500	240
平成18年2月10日	IT textシリーズ 基礎Web技術	700	188
平成18年2月20日	IT textシリーズ コンピュータネットワーク	1,500	204
平成18年2月25日	IT textシリーズ 情報セキュリティ	700	268
平成18年3月5日	IT textシリーズ 情報と職業	1,000	222

5. その他出版（英文図書）

いずれも、判型：16cm×24cm判、委託出版社名：オーム社

発行年月	書籍名	発行部数	本文頁数
平成17年7月	Advanced Information Technology Series 「Communication and Collaboration Support Systems」	309	303
平成17年9月	Advanced Information Technology Series 「Spoken Language Systems」	206	347

5. その他出版（記念DVD）

発行年月	書籍名	発行部数	収録論文件数
平成18年3月	創立45周年記念DVD	2,000	約33,000件

## 付4．国際会議一覧

### 1．国際会議

名称	開催年月	場所	参加数	内、海外 参加	共催団体
20th IFIP International Information Security Conference (SEC2005)	平成17年5月30日～6月1日	幕張メッセ	155	75	IFIP
International Conference on Entertainment Computing (ICEC)	平成17年9月19日～21日	関西学院大学	158	46	IFIP
The 2006 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2006)	平成18年1月23日～27日	アリゾナ	103	(19ヶ国)	IEEE-CS

### 2．小規模国際会議

名称	開催年月	場所	参加数
Second International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2005)	平成17年4月13日～15日	大阪大学	56
1st International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech 2005)	平成17年7月15日～16日	江戸東京博物館	70

## 付5. 表彰等 \*いずれも所属( )内)は選定当時、掲載は順不同、敬称略

### 1. 新名誉会員(2名) [第49回通常総会(平成18年5月)表彰][理事会(平成18年1月)]

- ・稲垣康善(愛知県立大)
- ・棟上昭男(東京工科大)

### 2. 功績賞(3名) [第49回通常総会(平成18年5月)表彰][功績賞選定委員会(平成18年3月)]

- ・益田隆司(電通大)
- ・田中穂積(中京大)
- ・林 弘(富士通研)

### 3. 新フェロー(14名) [第68回全国大会(平成18年3月)表彰][フェロー選定委員会(平成17年12月)]

- ・浅野孝夫(中央大) 「離散アルゴリズムの研究と普及に対する貢献」
- ・天野真家(湘南工科大) 「自然言語処理機器の実用化と自然言語処理研究活動の隆盛化への貢献」
- ・池内克史(東大) 「コンピュータビジョン分野の技術発展に対する貢献」
- ・片山卓也(北陸先端大) 「ソフトウェア科学・工学に関する研究」
- ・北川博之(筑波大) 「データベースシステムの高機能化および情報統合に関する研究」
- ・高橋 修(はこだて未来大) 「モバイルインターネットのサービスとプロトコルに関する研究開発への貢献」
- ・西田豊明(京大) 「知識コミュニケーションに関する研究に対する貢献」
- ・馬場敬信(宇都宮大) 「計算機システムの研究と教育に対する貢献」
- ・星 徹(東京工科大) 「グループウェアとマルチメディア通信技術の研究開発・実用化・普及に関する貢献」
- ・松本裕治(奈良先端大) 「自然言語処理システムの研究開発とその共有化に対する貢献」
- ・松山隆司(京大) 「実世界画像メディアと人間の情報処理理解に関する研究に対する貢献」
- ・村井 純(慶大) 「インターネット開発発展への貢献」
- ・村山優子(岩手県立大) 「情報処理学会におけるセキュリティ啓発活動に対する貢献」
- ・吉川正俊(名古屋大) 「データベースの質問処理と高度応用に関する研究」

### 4. 論文賞(8件27名) [第49回通常総会(平成18年5月)表彰][論文賞選定委員会(平成18年3月)]

- ・チャンネル間相関を用いた多チャンネル信号の可逆圧縮符号化  
鎌本 優、守谷健弘(東大/NTT)、西本卓也、嵯峨山茂樹(東大)
- ・チェアサイドで使用可能な発語評価のための音声認識の開発  
松浦 博、桃崎浩平、正井康之(東芝)、秀島雅之、犬飼周佑、佐藤雅之、安藤智宏、大山喬史(東京医科歯科大)
- ・軽量仮想計算機モニタを用いたOSデバッグ方式の提案  
竹内 理(日立)
- ・シームレス通信環境のためのコンテキスト情報を利用したネットワーク・アプリケーション制御機構  
井上真杉、マハムドカレド、村上 誉、長谷川幹雄(NICT)、森川博之(東大/NICT)
- ・音声対話システムにおけるスケーラビリティ評価モデルの検討  
荒金陽助(NTT)、下川清志(NTT-AT)、金井 敦(NTT)
- ・型安全でないICプログラムのポインタ解析  
千代英一郎(日立)
- ・リンク情報の利用によるWeb 検索性能の改善  
正田備也、高須淳宏、安達 淳(NII)
- ・Illumination Color and Intrinsic Surface Properties--Physics-based Color Analyses from a Single Image  
Robby T. Tan(Australian National Univ.)、Katsushi Ikeuchi(Univ. of Tokyo)

### 5. 業績賞(3件14名、\*:代表貢献者) [第49回通常総会(平成18年5月)表彰][業績賞選定委員会(平成18年3月)]

- ・「XMLの制定・普及への貢献」  
\*村田 真(日本IBM)、小町祐史(松下電送システム)、檜山正幸(檜山オフィス)、田村健人(日本IBM)
- ・「次世代共通鍵暗号方式「Camellia」の開発と国際標準化」  
\*神田雅透、青木和麻呂(NTT)、松井 充、時田俊雄(三菱電機)、盛合志帆(ソニー・コンピュータエンタテインメント)
- ・「非接触型手のひら静脈認証技術の製品展開」  
\*佐々木繁、渡辺正規(富士通研)、若林 晃、川合裕昭(富士通)、勝又 裕(富士通フロンテック)

6. 長尾真記念特別賞 17年度新設(3名) [第49回通常総会(平成18年5月)表彰] [長尾真記念特別賞選定委員会(平成18年3月)]

- ・青木 恒(東芝) 「放送番組の映像構造化技術の研究開発」
- ・高村誠之(NTT) 「高効率映像符号化に関する研究開発」
- ・千葉 滋(東工大) 「プログラム変換技術を活用したソフトウェア開発ツールの開発と普及」

7. 山下記念研究賞(28名) [各研究発表会等で表彰] [各領域委員会(平成17年6月~7月)]

<コンピュータサイエンス領域>

- ・Java アプリケーションの要求仕様とセキュリティポリシーのトレードオフ分析 [ソフトウェア工学研究会] 海谷治彦(信州大)
- ・プログラムスライスを用いたアスペクト指向プログラムのデバッグ支援環境 [ソフトウェア工学研究会] 石尾 隆(阪大)
- ・プリフェッチ機能付きメモリモジュールによる不連続アクセスの連続化 [計算機アーキテクチャ研究会] 田邊 昇(東芝)
- ・高性能マイクロプロセッサシミュレータの時分割並列処理による高速化 [計算機アーキテクチャ研究会] 高崎 透(村田機械)
- ・例外依存関係を越える部分冗長性除去 [プログラミング研究会] 大平 怜(日本IBM)
- ・類似テキスト検索のための多重トピックテキストモデル [数理モデル化と問題解決研究会] 上田修功(NTT)
- ・単目的最適化問題における多目的化とその有効性 [数理モデル化と問題解決研究会] 渡邊真也(立命館大)

<情報環境領域>

- ・Concurrency Control for Distributed Objects using Role Ordering (RO) Scheduler [マルチメディア通信と分散処理研究会] 榎戸智也(立正大)
- ・ユビキタスサービスのためのエージェントプラットフォームの提案 [マルチメディア通信と分散処理研究会] 西山 智(KDDI研)
- ・ポリゴン間のプライオリティ決定のための円環型データ構造 [グラフィクスとCAD研究会] 福重真一(東大)
- ・マルチバンドカメラを用いた油彩画の計測とレンダリング [グラフィクスとCAD研究会] 田中法博(長野大)
- ・六の膳: お皿に写真を投影するシステムによる食卓コミュニケーション支援 [グループウェアとネットワークサービス研究会] 天野健太(NTT-IT)
- ・書籍販売サイトbk1 におけるレコメンドエンジンAwarenessNet の導入効果 [グループウェアとネットワークサービス研究会] 市川裕介(NTT)
- ・高フレームレート映像信号に対する符号化特性解析 [オーディオビジュアル複合情報処理研究会] 坂東幸浩(NTT)
- ・アドホックネットワークにおいてスマートアンテナを利用したMACプロトコルの特性評価 [モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会] 高田昌忠(静岡大)
- ・大規模モバイルネットワークのための分散型マイクロモビリティに関する検討 [モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会] 横田英俊(KDDI研)
- ・ルータクラスタにおける二重パケット処理冗長方式 [高品質インターネット研究会] 狩野秀一(NEC)
- ・ユビキタス情報環境における履歴を用いた機器操作支援手法 [ユビキタスコンピューティングシステム研究会] 河口信夫(名古屋大)

<フロンティア領域>

- ・自動生成した言い換え文における動詞結合価誤りの自動検出手法 [自然言語処理研究会] 藤田 篤(京大)
- ・文脈一貫性を利用した極性付評価表現の語彙獲得 [自然言語処理研究会] 那須川哲哉(日本IBM)
- ・ネットワーク外部性の働く製品市場のモデル化とプレゼント戦略評価 [知能と複雑系研究会] 辻 将之(日本投信委託)
- ・2次元同時サブピクセル推定法のBayer配列への適用と超解像への応用 [コンピュータビジョンとイメージメディア研究会] 清水雅夫(東工大)
- ・大型有形文化財計測のための気球搭載型レンジセンサ [コンピュータビジョンとイメージメディア研究会] 阪野貴彦(東大)
- ・小学校におけるプログラミング活用の現状と課題 [コンピュータと教育研究会] 佐藤和浩(千葉市立おゆみ野南小学校)
- ・proGrep-プログラミング学習履歴検索システム [コンピュータと教育研究会] 長 慎也(早大)
- ・錦絵資料の測色値画像データベースの構築と色彩分析の試み [人文科学とコンピュータ研究会] 鈴木卓治(国立歴史民俗博物館)

- ・ハーモニック・クラスタリングによる多重音信号音高抽出における音源数とオクターブ位置推定 [音楽情報科学研究会] 亀岡弘和(東大)
- ・将棋熟達者の発話にみる思考と認知 [ゲーム情報学研究会] 伊藤毅志(電通大)

---

8. 大会優秀賞・大会奨励賞 [第68回全国大会(平成18年3月)表彰][第67回全国大会 大会優秀賞・大会奨励賞選定委員会]

---

(1) 大会優秀賞(9名)

- ・大平茂輝(名古屋大) ・置田 誠(日本HP) ・黒岩直子(お茶の水女子大) ・小鷹研理(京大)  
・坂根 裕(静岡大) ・高本良史(日立) ・日詰遼子(お茶の水女子大) ・藤山健一郎(NEC)  
・矢野浩仁(日立)

(2) 大会奨励賞(10名)

- ・井上真由美(東京農工大) ・河野寛行(武蔵工大) ・北原鉄朗(京大) ・白澤洋一(秋田大)  
・豊田真智子(お茶の水女子大) ・中山慎哉(上智大) ・藤井哲也(NICT) ・筆谷光雄(立命館大)  
・松田昭信(放送大) ・吉田宏史(愛知教育大)

---

9. 優秀教材賞(1名) [第68回全国大会(平成18年3月)表彰][教育委員会]

---

- ・丹羽時彦(関西学院高等学校)

---

10. 感謝状(1名) [第68回全国大会(平成18年3月)表彰][総務財務運営委員会(平成18年1月)]

---

- ・深澤信夫(大貫・深澤法律事務所) 「学会運営に対する法律面からの貢献」

---

11. 学会活動貢献賞(3件) [第68回全国大会(平成18年3月)表彰][総務財務運営委員会(平成18年1月)]

---

- ・塚本昌彦(神戸大) 「論文誌の査読貢献」  
・東野輝夫(阪大) 「論文誌の査読貢献」  
・安田孝美(名古屋大) 「論文誌の査読貢献」

---

12. 標準化功績賞(3名) [情報規格調査会総会(平成17年7月)表彰][情報規格調査会]

---

- ・芝野耕司(東京外国大)  
・山本喜一(慶大)  
・渡辺 裕(早大)

---

13. 標準化貢献賞(11名) [情報規格調査会総会(平成17年7月)表彰][情報規格調査会]

---

- ・小倉由紀子(情報処理学会) ・木村敏子(情報処理学会) ・頃末和義(マイクロソフト プロダクト ディベロップメント リミテッド)  
・千田昇一(NTT-AT) ・田淵治樹(IPA) ・土田正士(日立) ・野水泰之(リコー)  
・伏見 諭(情報数理研究所) ・山下博之(JST) ・山田昭雄(NEC) ・山本和幸(松下電工)

---

以上